

# 令和元年度 徳島県立城東高等学校 学校評価 総括評価表

## 本年度の重点目標

### ① 人権教育の充実

ア 人権尊重を柱にすえた教育活動を推進する      イ 自他を大切に作る心や態度を育成する      ウ 家庭への啓発活動を推進する

### ② 学習指導の充実

ア 学習意欲を引き出す指導体制・指導方法の工夫・改善を図る      イ 主体的に学習に取り組む態度の育成を図る      ウ 多様なニーズに応える教育課程の編成を図る

### ③ 進路指導の充実

ア 生徒一人一人の勤労観・職業観の育成を図るとともに、夢や目標を明確にさせる      イ 生徒一人一人の学力や適性、興味・関心に応じたきめ細やかな指導を充実させる  
ウ 進路実現のために必要な情報を迅速かつ的確に収集し、組織的・計画的な指導を行う

### ④ 生徒指導の充実

ア 社会の一員としての正しいルール・マナーを習得させ、基本的生活習慣の確立を図る      イ 学校の教育活動全体を通じて道徳教育を展開する  
ウ 良好な対人関係を構築できる社会性を育み、いじめを未然に防止する態勢を整える  
エ 生徒との信頼関係を確立し、家庭との連携を図り、個に応じた生徒指導を展開する

### ⑤ 特別活動の推進

ア ホームルーム活動・生徒会活動を活性化させ、自主性や実践的な態度を育成する      イ 部活動を充実させる  
ウ ボランティア活動の機会を取り入れ、豊かな人間性を育てる

### ⑥ 健康教育の推進

ア 正しい食生活等の健康増進についての指導を行い、心身の調和的発達の促進を図る      イ 一人一人に応じた特別支援教育の推進を図る  
ウ 教育相談活動の一層の充実を図る

### ⑦ 環境教育・安全教育の推進

ア 環境問題への意識高揚と環境学習の推進を図る      イ 校内外の環境美化活動を推進する      ウ 防災教育を推進し、災害時の実践力を育成する

### ⑧ 主権者教育・消費者教育の推進

ア 政治や選挙への関心を高め、有権者として必要な政治的素養の育成を図る  
イ 消費者被害等の危機を自ら回避できる能力を育成する      ウ 持続可能な社会の実現に寄与する消費生活を実践できる能力を育成する

### ⑨ 読書活動の推進

ア 生徒の望ましい読書習慣の形成を図る      イ 生徒の自主的な読書活動を推進する

### ⑩ グローバル人材の育成

ア 異文化理解学習を通じて、国際協調の精神の涵養を図る      イ 国際社会の中で主体的に生きる能力や課題を解決する力の育成を図る

### ⑪ 開かれた学校づくりの推進

ア 教育活動の積極的な公開を推進する      イ ホームページ等を利用した積極的な情報発信を推進する      ウ 地域社会、PTA、同窓会との連携を図る

### ⑫ 教職員の資質向上

ア 校務運営体制の効率化と充実を図る      イ 教職員のコンプライアンス意識の高揚を図る      ウ 校内外の研修を通じて指導力の向上を図る

# 1 人権教育の充実

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価		次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	
①人権尊重を柱にすえた教育活動を推進する  ②自他を大切にすする心や態度を育成する	① 人権に配慮した教育活動ができています割合 100%			総合評価 (評定)	
	② 生徒の人権意識の向上度 90%以上				
③家庭への啓発活動を推進する	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		学校関係者の意見
	① <ul style="list-style-type: none"> <li>年間4回「人権週間」を設定する。</li> <li>ホームルーム活動の活性化を図るため城東人権ゼミを充実させる。</li> <li>人権啓発行事（コンサート・映画・講演会等）を実施する。</li> <li>人権意識高揚のための職員研修会を年間3回実施する。</li> <li>P T A 総会・城東祭（文化祭）や「とくしま教育の日」に「人権教育展」をそれぞれ開催する。</li> <li>校誌の人権コーナーを充実し、保護者への啓発活動を確実なものとする。</li> </ul> ② <ul style="list-style-type: none"> <li>人権標語の募集、展示をする。</li> <li>挨拶運動を年間7回実施する。</li> <li>校内に人権啓発に関するパネルを固定し、人権委員会や Know サークルの活動内容を、年間4回掲示する。</li> <li>自主活動の場として、「中・高生による人権交流事業」に積極的に参加する。</li> </ul>				

## 2 学習指導の充実

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	総合評価	
①学習意欲を引き出す指導体制・指導方法の工夫・改善を図る  ②主体的に学習に取り組む態度の育成を図る  ③多様なニーズに応える教育課程の編成を図る	① 授業の工夫改善度 各教科 80%以上 学習に対する動機付け度 90%以上 学習に対する意欲度 80%以上  ② 予習への取り組み度 50%以上 復習への取り組み度 60%以上  ③ 生徒の学習時間（1日あたり） 3時間を超える生徒の割合 60%以上 1日あたりの平均学習時間 3時間以上  ④ 進路希望にあったコース（教科・科目）の満足度 80%以上				(評定)	
	活動計画		活動計画の実施状況		(所見)	学校関係者の意見
	① ・教科研究会を定期的（年間3回）に実施し、授業力の向上・指導案の研究をする。 ・シラバスの改訂を行う。 ・相互参観授業等で他の教員の授業を参観し授業力の向上を図る。（各教員年4回） ・授業公開を年間2回以上行う。  ②・③ ・第1学年で英語、数学、国語の学習ガイダンスを4月に特設授業の中で実施する。 ・好ましい学習態度を身につけさせる。 ・予習・復習、授業の受け方を指導する。 特に予習の大切さと授業との効果的連動については、学期始めやテスト終了後など授業の中で教科担任から適切に指導する。 ・家庭学習時間調査を毎日実施する。 ・週末課題、週末テストを実施し、家庭学習の習慣化を徹底する。 ・学年団による学習指導、生活指導の充実を図る。 ・基礎学力養成講座、定期考査の再テストを実施する。  ④ ・学校行事の精選、定期考査の日程における工夫を行い、授業時数を確保する。 ・教育課程検討委員会において、教育課程やコース制の在り方等を検討する。					

### 3 進路指導の充実

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	総合評価	
①生徒一人一人の勤労観・職業観の育成を図るとともに、夢や目標を明確にさせる ②生徒一人一人の学力や適性、興味・関心に応じたきめ細かな指導を充実させる ③進路実現のために必要な情報を迅速かつ的確に収集し、組織的・計画的な指導を行う	① 総合学習「クエスト」の有用度 80%以上 ② 城東ゼミ（補習）の有用度 80%以上 ③ 進路情報の学校の提供度 85%以上 ④ ・東京大，京都大 合格者数 10名以上 ・医学部医学科 合格者数 10名以上 ・難関10大学 合格者数 40名以上 ・国公立大学合格者数 200名以上 ⑤ 校外模試偏差値70以上 40名以上 偏差値60以上 130名以上				(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況			(所見)	学校関係者の意見
	①-1 ・東京・京都大学見学を実施する。 ・企業研修を実施する。 ・オープンキャンパスへの参加を推奨する。 ①-2 第2学年での徳島大学等の体験授業を実施する。 ①-3 第1学年での職業ガイダンスを実施する。 ②-1 補習を3年生38講座，2年生38講座，1年生21講座実施し，多様な教育ニーズに応える。 ③-1 ・進路説明会を実施する。（各学年1回） ・難関大学，医・歯・薬学部進学希望者説明会を実施する。 ③-2 進路情報誌を適宜配布する。 ④・⑤ ・進路検討会を第3学年で年4回実施する。 ・難関大希望者対象模試を各学年2回以上実施する。 ・模試分析会を第1，2学年で3回実施する。 ・学力テストの講評を全学年で延べ11回配布する。					

#### 4 生徒指導の充実

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	総合評価	
①社会の一員としての正しいルール・マナーを習得させ、基本的生活習慣の確立を図る ②学校の教育活動全体を通じて道徳教育を展開する ③良好な対人関係を構築できる社会性を育み、いじめを未然に防止する態勢を整える ④生徒との信頼関係を確立し、家庭との連携を図り、個に応じた指導を展開する	①-1 服装・頭髪が守れている割合 90%以上 ①-2 あいさつが身につけている割合 85%以上 ①-3 ルール・マナーを守っている割合 85%以上				(評定)	学校関係者の意見
	② 充実したホームルーム活動を行うことができたと回答した割合 80%以上 ③ いじめを未然に防止するための積極的な取り組み (面接・アンケート 3回) ④ 組織的な生徒指導ができている割合 85%以上					
	活動計画		活動計画の実施状況		(所見)	
	①-1 各学年での服装・頭髪指導を充実させる。(年3回) ①-2 生活委員・部活動生徒によるあいさつ運動・駐輪場のマナーアップ運動を各学期それぞれ1回実施する。 ①-3 遅刻の多い生徒に対し、段階的な指導として担任・生徒課・学年主任・管理職による個別指導を行う。状況に応じて保護者を呼んで指導を行う。 ・交通マナーアップ運動、携帯電話・スマートフォン講演会などを通じて、全校生徒に社会のルールを守ることやマナー指導を行う。 ② 道徳教育に関するホームルーム活動を各学年で実施する。 ③ クラス分析会を定期的開催し、生徒の状況等について情報交換を行う。重要な対策等が必要なときは、いじめ防止等対策委員会を開き協議を行う。 ④ 様々な問題を抱えた生徒に対して、学年や部活動顧問及び生徒課等が連携し、多方面から生徒の家庭状況や心身の把握に努め、個々にあった適切な指導を模索し、効果的な指導に努める。					



## 6 健康教育の推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	総合評価	
①正しい食生活等の健康増進についての指導を行い、心身の調和的発達の促進を図る  ②一人一人に応じた特別支援教育の推進を図る	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健だより」の「食育」コーナーの設置回数 6回以上</li> <li>・保健室の生徒への応急処置や心の悩み等への対応の良好の割合 80%以上</li> <li>・尿検査の提出率 100%</li> </ul>			(評定)	
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する職員研修会に対するアンケートの満足度 90% (平均)</li> </ul>				
③教育相談活動の一層の充実を図る。	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親身になって生徒の悩みや相談に応じてくれる割合 85%以上</li> </ul>				
	活動計画	活動計画の実施状況				
	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健委員会での生徒の自主的活動を推進する。</li> <li>・文化祭での展示等により、健康増進への啓発を図る。</li> <li>・各教科・各課と連携し、食育啓発を図る。</li> <li>・「保健だより」を12回以上発行し、「食育」コーナーを設け、興味・関心を深める。</li> </ul>				学校関係者の意見
	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する職員研修会を1学期、2学期にそれぞれ1回実施する。</li> <li>・各学年会を利用して、気になる生徒についての情報交換を定期的実施し、心身や生活面、学業などについて悩みや問題を抱えている生徒を早期に発見し、支援を行う。</li> </ul>				
	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセラーや専門機関と連携した教育相談活動を充実する。</li> </ul>				

## 7 環境教育・安全教育の推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	総合評価	
① 環境問題への意識高揚と環境学習の推進を図る ② 校内外の環境美化活動を推進する ③ 防災教育を推進し、災害時の実践力を育成する	① 環境美化活動に積極的に取り組んでいる割合 80%以上 ② ・清掃活動に熱心に取り組む、美しい環境を保つよう心掛けている割合 80%以上 ・環境委員による清掃奉仕活動（放課後）の実施回数 5回以上 ③-1 防災訓練の実施回数 2回 ③-2 心肺蘇生法の技術を習得する			評価 総合評価 （評定）		
	活動計画 ① ・節電・節水を呼びかける。 ・環境問題に関する記事を掲示する。 ② ・毎日の清掃を徹底する。 ・環境委員による校内や学校周辺の清掃奉仕活動を5回以上実施する。 ③-1 防災訓練の実施においては、避難経路及び関係職員の役割の確認を行う。 ③-2 職員・生徒への心肺蘇生法の講習会をそれぞれ1回以上実施する。 ③-3 「防災クラブ」の活動を推進する。	活動計画の実施状況		（所見）	学校関係者の意見	

## 8 主権者教育・消費者教育の推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価		次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	
① 政治や選挙への関心を高め、有権者として必要な政治的素養の育成を図る ② 消費者被害等の危機を自ら回避できる能力を育成する ③ 持続可能な社会の実現に寄与する消費生活を実践できる	①-1 「選挙のしくみが理解できた」と回答した生徒の割合 90%以上 ①-2 「選挙権年齢に達したら投票に行く」と回答した生徒の割合 90%以上 ② 「契約トラブルと消費者保護制度について理解できた」と回答した生徒の割合 80%以上 ③ 「持続可能な社会のあり方について考え、実際に行動に移すことができた」と回答した生徒の割合 80%以上			評価 総合評価 (評定)	
	活動計画 ①-1 公民科の授業をとおして、選挙制度について十分に理解を深め、主権者となすべき課題を見つけさせる。 ①-2 主権者意識を高める教育の充実のための出前講座を実施する。 ② 家庭科の授業をとおして、「消費者の権利と責任」を自覚して行動できるよう、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解する。 ③ ・1年生に対して「エシカル消費」に関する講演会を行う。 ・2年生の課題研究においてSDGsを考慮に入れて課題を考えるように指導する。 ・文化祭で「エシカル消費」に関するパネル展示を行い、啓発を行う。 ・家庭クラブ、環境防災課での取組や日々の清掃活動等を通じて持続可能な社会の実現のための実践力を身につける。	活動計画の実施状況	(所見)	学校関係者の意見	

## 9 読書活動の推進

具体的目標	評価指標（と活動計画）	評価			次年度への課題と今後の改善方策
		評価指標による達成度	評定	総合評価	
①生徒の望ましい読書習慣の形成を図る  ②生徒の自主的な読書活動を推進する	<b>評価指標</b> ①-1 読書活動に学校として積極的に取り組んでいる割合 70%以上  ①-2 生徒一人あたりの年間図書貸出数 (2019.1~2019.12) 5.5冊以上  ②-1 読書会, 読書週間の実施回数 読書会 2回以上 読書週間 2回以上  ②-2 ツールとして, 図書館の資料を活用するスキルを身につけている割合 80%以上			(評定)	
	<b>活動計画</b> ①-1 ・読書週間を1・2学期にそれぞれ1回実施する。 ・学校ホームページに図書館情報を掲載する。 ・「ライブラリーニュース」を毎月発行する。  ①-2 読書会を1・2学期にそれぞれ1回以上実施する。  ②-1 ・図書委員を中心に, 読書会・読書週間を利用して読書啓発を行う。 ・生活記録の「読書」欄を利用し, 読書への関心・意欲を高める。  ②-2 ・国際的視野を広げる一助となるように関連書籍を「ライブラリーニュース」や展示などで, 紹介していく。  ・生徒により興味・関心を持たせるような展示にするよう工夫する。	<b>活動計画の実施状況</b>		(所見)	学校関係者の意見

## 10 グローバル人材の育成

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価		次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	
① 異文化理解学習を通じて、国際協調の精神の涵養を図る  ② 国際社会の中で主体的に生きる能力や課題を解決する力の育成を図る	① ・国際交流・国際理解教育に積極的に取り組んでいる割合 90%以上  ・国際教育振興弁論大会等の生徒参加人数 20名以上 ・国際教育振興弁論大会等の生徒入賞者数 15名以上 ・国際理解教育に関する諸行事の参加人数 120名以上 ・海外研修・海外留学に参加した（したい）生徒の割合 60%以上 ② 社会貢献活動や自己研鑽活動に取り組む生徒数 300名以上			総合評価  （評定）	
	活動計画  ① ・文化祭などでインドネシア研修・姉妹校交流の展示を2回以上行う。 ・テレビ会議等を活用し、インドネシアやフランスの生徒との交流を10回以上行う。 ・テレビ会議ではテーマを決めて活発な議論ができるように指導する。 ・国際教育振興弁論大会等の諸行事に参加を奨励するとともに、参加生徒にきめ細かな指導をする。 ・県や大学・国際交流団体が主催する行事への参加を奨励する。 ・地元大学や国際交流協会等と連携して外国人と交流する機会を増やす。 ・海外研修や海外留学に関する情報を提供し、参加を推奨する。  ② ・課題研究の指導を入念に行い、研究内容の深化を図る。  ・各種発表会において英語で発信する機会を増やすために発表するグループの数を5組以上にして生徒の発表の機会を増やす。	活動計画の実施状況	（所見）		

## 11 開かれた学校づくりの推進

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	総合評価	
①教育活動の積極的な公開を推進する  ②ホームページ等を利用しての積極的な情報発信を推進する  ③地域社会，PTA，同窓会との連携を図る	①-1 教育活動の公開が学校の理解に役立っている割合 保護者 90%以上  ①-2 授業公開の参加者数合計 800名以上  ①-3 中学生体験入学の参加者数 中学生 700名以上 保護者・教員 200名以上  ② ホームページが学校の情報を得たり，学校の活動を理解するのに役立っている割合（利用の保護者対象）85%以上  ③-1 地域住民，PTA及び同窓会関係者を委員とする学校支援協議会の開催回数 2回  ③-2 中学生及びその保護者を対象とした，学校説明会の開催回数 2回				(評定)	
	① ・休日の授業公開日を2回実施する。 ・中学校，大学，学校評議員，保護者等への広報を充実させる。 ・中学生体験入学の実施については体験授業，体験入部の内容や方法等について，効果的なものになるよう改善する。  ② ホームページを見やすく，使いやすいものになるよう改善に努めるとともに，内容の更新をできるだけ速やかに行う。  ③-1 学校支援協議会を年2回（6月，3月）開催する。  ③-2 学校説明会を休日に複数回実施し，中学生や保護者が参加しやすいようにする。また，中学校への案内や広報の方法を工夫し，参加者を増やす。	活動計画の実施状況			(所見)	学校関係者の意見

## 12 教職員の資質向上

重点目標	評価指標（と活動計画）		評価			次年度への課題と今後の改善方策
	評価指標		評価指標による達成度	評価	総合評価	
①校務運営体制の効率化と充実を図る ②教職員のコンプライアンス意識の高揚を図る ③校内外の研修を通じて指導力の向上を図る	① 教員の職務の満足度 90%以上 ② ・常にコンプライアンス意識を持って勤務している割合 100% ・教育活動に危機管理意識を持って対応できている割合 95%以上 ③ 校外での授業力向上に向けた研修参加人数 5名以上				(評定)	
	① ・校内組織の活性化を図るため、学年主任等を中心とした月例主任連絡会をもつ。 ・校内文書情報の共有化を図り効率的な校務事務処理を構築する。 ② ・情報セキュリティポリシーについての研修会を2回以上実施し、「情報セキュリティポリシー」を徹底し、確実に実行できるようにする。 ・職員全体でのコンプライアンス研修会を3回以上実施し、コンプライアンス意識の向上を図る。 ③ ・計画訪問等も含め、職員研修・研究授業を計画的に配置し、各教科1回以上ICTを用いた研究授業を行う。 ・相互参観授業週間を2回以上実施し、生徒の状況把握や授業改善に役立てる。 ・外部機関等の授業力向上研修に参加する。 ・全教員（講師を除く）が、「目標管理シート」を効果的に使用し、自らの課題や責務を客観的に捉え、次年度への改善に生かせるスキルを身に付ける。	① 活動計画の実施状況		(所見)		学校関係者の意見